

平成 20 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマダ電機
代表者名 代表取締役社長 山田 昇
(コード番号 9831 東証第一部)
問合せ先 取締役専務執行役員 岡本 潤
(TEL 027-233-5842)

使用済みインクカートリッジ回収による
子どもたちの未来のための「募金活動」のお知らせ
～第 1 回募金贈呈式を開催し 315 万円を支援団体へ寄付～

当社と、リサイクルインクの製造・販売を行なうジット株式会社（本社・山梨県南アルプス市、石坂正人社長）は、平成 20 年 1 月 29 日に、「子どもたちの未来のための募金活動」第 1 回募金贈呈式を開催し、特定非営利法人国際協力 NGO センター（JANIC）と財団法人交通遺児育成基金へ寄付金総額 3,151,500 円の目録を贈呈しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 募金活動の概要

ヤマダ電機グループ全店の店頭、及び設置協力会社 79 法人（平成 19 年 12 月 29 日現在）に設置した回収ボックスで、回収したインクジェットプリンター使用済みインクカートリッジ 1 個に対し 10 円を当社とジットが、JANIC と交通遺児育成基金へ寄付します。

第 1 回募金贈呈式は、平成 19 年 11 月 21 日から平成 20 年 1 月 20 日までの 2 カ月間で回収した 315,150 個分に対する寄付であり、寄付金総額 3,151,500 円を JANIC が運営する「保健医療支援まとめて募金」と「環境保全まとめて募金」（※1）、及び「交通遺児育成基金」（※2）へ 3 等分して 1,050,500 円ずつ贈呈したものです。

2. 今後の活動計画

当社、及びジットは今後、3 カ月ごとに回収したインクカートリッジを集計し、その相当額を 2 団体へ寄付します。また、初年度は年間 300 万個の回収を目指し、3000 万円の寄付を目標として継続的に活動する計画です。

募金活動状況の詳細は当社ホームページ <http://yamada-denki.jp/>、当社法人会員誌「シヤニム」等にて随時報告いたします。

3. 募金活動の趣旨

募金活動の趣旨は「恵まれない子どもたちへの支援」「環境循環型社会への取り組み」「空インクの再利用によるゴミ削減と CO2 排出量削減」の 3 つです。

当社では今後とも CSR 経営の一環としてこれら 3 施策についても、各種の企画を立案・遂行し、企業としての社会的責任を果たしていく所存です。

※1.寄付金は JANIC が運営する「NGO サポート募金」における「保健医療支援まとめて募金」と「環境保全まとめて募金」に寄付し同募金にて支援活動を行なう JANIC 加盟 NGO 団体へ分配されます。詳しくは、<http://www.janic.org/bokin/index.php> をご覧ください。

※2.交通遺児育成基金の詳細は、<http://www.kotsuiji.or.jp> をご覧ください。

以上

【 贈呈式の様子 】



